

# EN-S-040:ポルトランドセメント配合量の少ないコンクリートの打設

## 【削減方法】

- 産業副産物(高炉スラグ等)等の配合率を高めたコンクリートを打設することによりポルトランドセメントの使用量を削減して、ポルトランドセメント製造時の燃料消費及び化学反応に由来するCO2排出量を削減する。

## 【主な適用条件】

- ① 建築確認を受けた建築物の建築において、ベースラインのコンクリートよりも少量のポルトランドセメント(混合セメント含有分を含む)を使用したコンクリートを打設すること。
- ② コンクリートの全部又は一部の呼び強度が、JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」の定める18から60の範囲内であること。

## 【ベースライン 排出量の考え方】

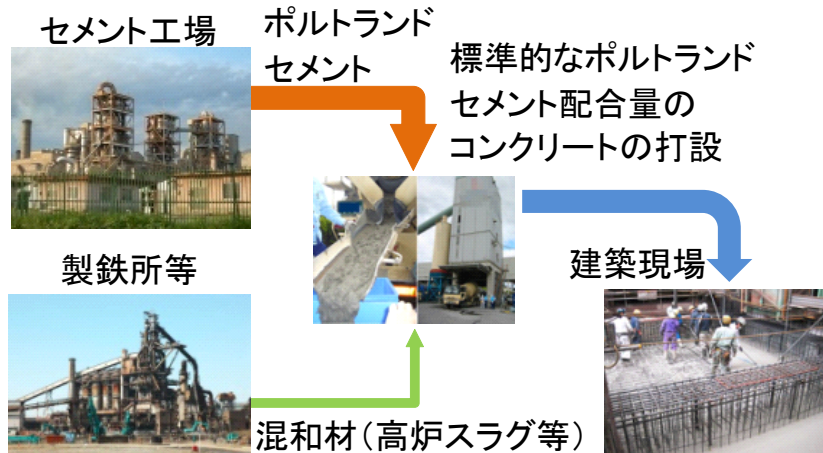
- プロジェクトと同体積・同仕様のコンクリートを、現在の標準的なセメント種別利用率(建築部位[基礎・地下構造/上部構造]別)及びセメント配合量(仕様別)で混練する場合に使用されるポルトランドセメント及び高炉セメントB種を製造する過程で想定されるCO2排出量

## 【主な モニタリング項目】

- プロジェクトにおける下部構造/上部構造別かつ仕様別のコンクリート打設量(m<sup>3</sup>)
- プロジェクトのコンクリートに使用する各種結合材(ポルトランドセメント、コンクリート用高炉スラグ微粉末、コンクリート用フライアッシュ等)の量(t)

## 【方法論のイメージ】

### ベースライン



### プロジェクト実施後

